

# とちぎの慣習・ことば集

～のこしていききたい つたえていききたい とちぎ<sup>じん</sup>人の想い～



栃木県教育委員会

## はじめに

栃木県には、相手を気遣う行動やことばかけ、地域の中で協力し合いながら行われてきた祭りなどが数多く根付いています。これらは、よりよい人間関係をつくり、相手を思いやる優しい社会を形成するために大きな役割を果たしてきたことから、私は、こうした慣習やことばを後世の人たちにも伝えていきたいと考えておりました。

県内各地の身近に伝わる慣習やことばを栃木県教育委員会が広く募集したところ、本県にゆかりのある県内外の方々から、多くの事例をお寄せいただきました。その中から、特に「よりよい人間関係づくりにつながる行いやマナー」、「感謝や願いを込めて地域で協力して行ってきた行事」、「県民が親しみを持って使ってきたことば」を選定し、とりまとめたものが本資料集「とちぎの慣習・ことば集～のこしていきたい つたえていきたい とちぎ人の想い～」です。

この資料集を、学校や地域、家庭などのさまざまな場面で活用していただき、先人の生活や文化に“想い”をはせ、ふるさと「とちぎ」のすばらしさを多くの方々が共有できることを願っています。

平成31(2019)年3月

栃木県知事 福田 富一

## 構成

- 本資料集は、よりよい人間関係づくりにつながる行いやマナー、感謝や願いを込めて地域で協力して行ってきた行事を「のこしていきたい つたえていきたい慣習」、県民が親しみを持って使ってきたことばを「のこしていきたい つたえていきたいことば」と表しています。
- 「のこしていきたい つたえていきたい慣習」では、各事例が関連するカテゴリーに分類しています。カテゴリーは、「マナー」、「衣食住」、「地域」、「季節」、「祭り」、「人生」の6つとしました。
- 本文には、事例にまつわる事柄 一意味、こと 伝わってきた経緯や場面、から 使い方などを掲載しています。また、「とちぎ人の想い」として、応募された方のなつかしい思い出なども紹介しています。
- スポーツイベントをはじめ様々な場面で親しまれている「県民の歌」を、とちぎへの想いを深めるものとして「特別編」に掲載しました。

### 【例】しもつかれ

～とちぎ人の想い～

- ・「しもつかれ」という言葉を聞くと、“ふるさととちぎ”を思い出します。
- ・初午はつまには、稲荷神社いなりに赤飯と「しもつかれ」をお供そなえしていました。



